

平成29年度 第1回社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日時 平成29年7月18日(火) 9時30分～11時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員 18名
河田委員長, 村田副委員長, 大川委員, 初谷委員, 船山委員, 金委員, 櫛渕委員,
三村委員, 松本委員, 山口委員, 福田委員, 高橋委員, 関口委員, 小池委員,
佐々木委員, 若園委員, 増渕委員, 小平委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名

6 内容

(1) 報告事項

- ① 宇都宮市の生涯学習・社会教育について
- ② 平成28年度「読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について

(2) 協議事項

- ① 「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画」の策定について
 - ・「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画」の策定体制について
 - ・「第2次宇都宮市地域教育推進計画」の評価等について
 - ・「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画」の骨子(案)について
- ② 平成29年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について
- ③ 「うつのみや人づくり推進委員会」への委員の推薦について

7 発言の要旨

| | |
|------|--|
| 事務局 | 【宇都宮市社会教育委員について説明】 |
| 事務局 | 【正副委員長選出について説明後, 櫛渕委員に仮議長を依頼】 |
| 櫛渕委員 | 委員長が決まるまでの間, 仮議長を務めさせていただきます。 「委員長及び副委員長の選出について」事務局より説明をお願いします。 |
| 事務局 | 【資料について説明】 |
| 櫛渕委員 | 事務局より説明がありましたが, いかが取り計らいでしょうか。 ご意見がございましたら, お願いします。 |

| | |
|--------|--|
| 櫛渕委員 | 特にご意見等ないようですので、事務局案に従って選出することとしてよろしいか、お諮りします。委員の皆様いかがでしょうか。 |
| 全員 | 異議なし。 |
| 櫛渕委員 | それでは、事務局より提案してください。 |
| 事務局 | 【事務局より、河田委員を委員長、村田委員を副委員長に提案】 |
| 櫛渕委員 | ただ今、事務局より提案がありましたが、河田委員を委員長に、村田委員を副委員長に、という提案ですが、これについてご異議ございませんでしょうか。 |
| 全員 | 異議なし。 |
| 櫛渕委員 | 異議なしとのことですので、決定いたします。 それでは、これからの議長につきましては、河田委員長にお願いします。 委員の皆様、ご協力ありがとうございました。 |
| 河田委員長 | ご指名をいただきました河田隆と申します。共和大学の教員をしております。 非常に今、社会教育の重要性が感じられるようになってきたと思います。これからも社会教育がいろいろな形で繁栄していけるように、努力していきたいと思いません。よろしく申し上げます。 |
| 村田副委員長 | 市議会議員の村田雅彦でございます。しっかり学びながら皆様のお役に立てるよう努めますので、よろしく申し上げます。 |
| 河田委員長 | それでは、報告事項①「宇都宮市の生涯学習・社会教育について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 【資料について説明】 |
| 河田委員長 | ありがとうございました。 それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。 |
| 河田委員長 | ご意見等無いようですので、議事を進めます。 報告事項②「平成28年度「読書活動推進計画」に関する施策事業の実績評価について」事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | 【資料について説明】 |

| | |
|-------|--|
| 河田委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。</p> |
| 河田委員長 | <p>数字的なものはどちらかというと下がっていて、その分析については、現在行っているということですが、折角、目標値を高く持っているの、その目標値をどのような背景で設定したのか、例えば他の市とどう変わっているかなど見えるとありがたいと思いますが、いかがかでしょうか。</p> |
| 事務局 | <p>全国的な傾向と、宇都宮市の各図書館、また図書館全体としての問題点、課題等を整理して、それらを踏まえて、今後、次期計画の策定を進めてまいります。骨子等については、またご意見をいただきたいと考えています。</p> |
| 河田委員長 | <p>ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。</p> <p>それでは、報告事項②につきましては、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>次に協議事項①「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画の策定について」のうち、1つ目の策定体制について、事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【資料について説明】</p> |
| 河田委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは続いて、「第2次宇都宮市地域教育推進計画の評価等について」事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【資料について説明】</p> |
| 河田委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ここまでの説明について、何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。</p> |
| 高橋委員 | <p>資料4別紙1、施策7「魅力ある学校づくり地域協議会活動への支援」について、財政的な支援を含めて、どのような支援をしているのでしょうか。また、施策9「まちづくりセンター」というのはどこが主体となって進めているものですか。</p> |
| 事務局 | <p>「魅力ある学校づくり地域協議会活動への支援」については、財政的な支援のほか、コーディネーター研修会、会長の意見交換会などを実施しています。また、魅力ある学校づくり地域協議会支援会議において、1年間を通してどのような支援が必要か決定しています。</p> <p>施策9の「まちづくりセンター」事業については、みんなでまちづくり課の所管事業として進めているものです。主に、地域活動団体、ボランティア団体、NPO法人などの活動の強化を行うために、登録団体の意見交換会、研修会の開催などを</p> |

実施しています。指標はまちづくり活動につながる講座の参加人数であり、主にまちびあなどと連携して行っているボランティア育成につながる講座への参加人数によって進捗を評価しています。

河田委員長

ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。

小平委員

まず基本目標1について、施策の進捗状況は概ね順調であるにもかかわらず本指標が低下をしている状況であり、施策自体はしっかりやっけていても、活動につながらない実態が見えてきたと思います。社会環境が変化し、女性の活躍・社会進出などもあり、平日昼間の講座の開催では、参画の機会を提供できないのではないのでしょうか。施策のやり方の工夫をするべきと思いますが、事務局の考えを伺います。

もう1点は、資料4別紙3の課題が素案につながってくるものと思います。社会的課題については、特に人権関係、性的マイノリティなど、例えば10年前にはLGBTという言葉はありませんでしたが、今は社会的認知をされてきています。そういった社会的な要請、これから必要になる社会的な課題をしっかり評価し内容を組み入れていくことが、これからの10年の計画としては必要と考えますが、事務局の考えを伺います。

事務局

基本施策1の評価については、様々な学習メニューの提供を行ってきましたが、講座の参加人数や図書の貸出冊数が伸びていない状況があります。原因の1つとしては、ご指摘のとおり、開催日時・やり方等が、時代の変化に追いついていないのではないかと考えています。次の計画で対応できるものにしていきたいと思っています。

また、社会的課題については大きな課題であります。人権などについては、人材かがやきセンターでLGBTを取り上げた講座を実施するなど、取組を始めているところですが、人権に限らず幅広い課題について対応できるよう、学習機会の提供を検討していきたいと思っています。

小平委員

図書について、貸出冊数が伸びていないが、今は大学生がレポートをスマホで書く時代。図書の媒体も電子図書など、紙媒体からシフトしている社会的な風潮を踏まえて、柔軟に読書機会の提供をできるようにしてほしいと思います。

事務局

貸出冊数が年々低下してきており、原因について検証しているところですが、現在、電子図書について検討しているところです。また、各図書館で様々な資料のデータを有料で取得していて、市民の皆様には無料で提供できるものがあります。非常に重要なものなので、PRを兼ねて利用促進に努めていきたいと考えています。

河田委員長

ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。

増淵委員

社会教育システムを持続可能な状態で構築することが、今、求められています。「持続可能」をどう考えるかが1つの課題だと思います。

様々な目標等を設定するとき、「主体的に」という言葉を使いたくなりますが、「主体的に」がどういう仕組みで可能になるかが頭を悩ませるところです。学習やボランティアへの参加は「主体的」が望ましいですが、強制されてやってみてはじめてその面白さがわかって、次から主体的に行動するという場合があります。強制されるといやだという感情もあります。何かの活動や学習を通して、それが「主体的に参加してみよう」という気持ちにさせるような仕組みができると良いと思います。それが地域課題解決学習を受け止めるときに助けになるのではないかと考えます。公民館等は「施設の改築や快適さを含めて工夫していきましょう」と文科省は言っています。地域課題とは何かあぶり出す仕掛けの1つが市民意識調査であり、その中にヒントがあると思いますので、設問の仕方に工夫が必要となります。

「楽しくなければ参加なし」というのが文科省の方針です。楽しく参加してもらう「楽しさ」とは何かを考えて進めていただきたいと思います。

事務局

ご指摘の通り、社会の要請ということで、市が仕掛けてもなかなか参加を渋る若い世代がいるというのが実際のところですね。例えば親学出前講座は、就学時検診など、どうしても行く必要がある機会をいただいて事業を行うなど、「呼ぶ」のではなく「出向く」に重点化してきています。高校生の読書推進も交流を通して楽しみながら事業を進めています。こうした取組を各センターの事業に広げなければいけないと認識しているところです。

河田委員長

ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。

大川委員

増淵委員から「ある意味強制」というお話がありましたが、学校では様々なレベルでの各種教育関係の情報を極力生徒に紹介するよう努めています。各学級の担任が生徒に紹介するにあたっては、いくつかのランク分けをして「情報提供」をすることによって、子どもたちに喚起しています。一方で、情報には実に多種多様なものがあり、これを続けると学校はパンクする状況です。しかしながら掲示板では子どもたちに直接伝わらない、というのがジレンマであります。有り難いことに、自発的な取り組みとして、地域の小中高9校が連携した取り組みがPTAから児童生徒へと広がりつつあり、南図書館や地区市民センターが調整役となって、その活躍の取りまとめを高校生にらせていただいています。現実には、その中でどれを深掘りして生徒の主体性につなげるか悩んでいるところです。

小中学校から、放課後や長期休業中の学童保育などで、小学生や中学生への学習支援に高校生の力を貸してほしいという依頼がありますが、A校はアルバイトでB校はボランティアという状況が起こっています。財政的支援をお断りすることは、可能ではありますが、現実的には難しく、それを理由にお断りするというのも、主催する小中学校等では困ってしまうこととなります。このような実態があることを、ご紹介させていただきました。参考にいただければと思います。

河田委員

ありがとうございます。その他に何かありますでしょうか。

| | |
|-------|--|
| 佐々木委員 | 資料4別紙3「地域教育を取り巻く状況」の中の、「グローバル化の一層の進展」については、この資料の中では少し見えにくいと感じます。宇都宮市でも外国籍の人、子どもたちも増えている状況の中で、次期計画の策定にあたり、地域におけるグローバル化がどういう状況か教えていただきたいと思います。多様化する価値観やニーズにも関わりがあり、貧困やマイノリティの問題にもつながることでもあると思いますので、骨子案にどのように反映していくのか、事務局の考えを伺います。 |
| 事務局 | <p>現段階ではグローバル化への対応は社会の要請として捉えています。市の所管としては国際交流プラザが担っています。生涯学習センターや人材かがやきセンターの事業としても課題の1つとして取り組むように働きかけたいと思います。</p> <p>次期計画の策定体制の中で関係課として国際交流プラザも入って検討しているところです。現行計画における関連事業の中でも各地域での国際交流事業の推進に取り組んでいるので、その中で対応していけるものと考えています。</p> |
| 佐々木委員 | 個別の家庭や地域ごとの問題にもなっているので、その辺も併せて検討いただきたいと思います。 |
| 河田委員 | <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、この件については、以上でよろしいでしょうか。</p> <p>では、次の「(仮称)第3次宇都宮市地域教育推進計画」の骨子(案)について、事務局の説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | 【資料について説明】 |
| 河田委員長 | <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、何か、御意見・御質問等ありましたらお願いします。</p> |
| 河田委員長 | 生涯学習というものは2通りあり、自分の人間性を高めるための学習と捉えている人と、学習したものを表現したいという、活動を目的としている人。教育の現場から見ていると、様々な問題がある現代においては、小中学校はもう限界で、子どもたちを教育する場面がこれでいいのかと感ずることがあります。社会教育という大きな力を借りなくてははいけません。社会教育の中には資源が沢山あり、その資源をどうやって取り出していくかが課題であると思います。学びたいという意識があり、様々な場面で活躍したい人は沢山いるのに、それを地域で活かせていない感じを受けます。これからの施策の中に、活躍出来る場面をつくること、子どもたちを育むために何が大切なのかということに力を入れてほしいと思います。 |
| 河田委員長 | その他に何かありますでしょうか。 |
| 村田委員 | 基本目標Iの現行計画の評価では、指標が低下していますが、事務局では、現実に |

学習に向かう人が減っていると考えているのでしょうか。又は、調査の中で、例えば大学生がスマホを使ってレポートを作る様な学習活動が拾い上げられていないだけなのだとすると、現行計画と同じ目標では、この部分が抜け落ちてしまうのではないかと思います。新たな技術や新たな手法が学習の中心になっているのであれば、しっかりくみ上げて良い方向にリードしていく必要が次期計画には求められていると考えます。指標の低下理由をしっかりと見極めて次期計画に反映しなければ、的外れな旧態依然とした社会教育になってしまうと思いますが、事務局の考えを伺います。

事務局

指標の低下については、ご指摘のとおり、市民意識調査の設問により、うまく伝わらず、こちらの意図するところが拾えなかった可能性があると考えています。生涯学習センターの講座などは、現在、主に集団の学習形態となっておりますが、ICTに対応した学習の提供方法などを、施策又は事業として組み入れていく必要があると認識しています。単純に学習者が減ったというよりも、もう少し事業として幅を持たせていかなければならないと考えています。

河田委員長

ありがとうございます。

それでは、この件については、以上でよろしいでしょうか。

では、協議事項②「平成29年度栃木県社会教育委員協議会評議員の選出について」及び協議事項③「うつのみや人づくり推進委員会への委員の推薦について」、事務局から一括の説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

河田委員長

ただ今、事務局から説明がありましたが、選出について委員から意見がありましたらお願いいたします。

河田委員長

ご意見が無いようですので、事務局から案をお願いします。

事務局

【事務局案として、栃木県社会教育委員協議会評議員に河田委員長、うつのみや人づくり推進委員に増渕委員を提案】

河田委員長

事務局から提案ありましたが、いかがでしょうか。

全員

異議なし

河田委員長

異議なしとのことですので、事務局案のとおりで、よろしく願いいたします。それでは、以上で私の進行を終了させていただきたいと思います。皆さん御協力ありがとうございました。

事務局

河田委員長，進行ありがとうございました。

それでは，次第「その他」になります。

事務局より連絡事項について説明させていただきます。

【配布資料および，次回の会議日程について説明】

本日は長時間に渡ってのご審議，誠にありがとうございました。

以上をもちまして，平成29年度第1回社会教育委員の会議を閉会いたします。